

2024 年 10 月 29 日

便潜血陽性を契機に潰瘍性大腸炎が疑われた症例の予後に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、便潜血陽性（FIT）を契機に潰瘍性大腸炎（UC）が疑われた症例の臨床像と長期転帰を調べています。本研究では、便潜血陽性を契機に疑われた潰瘍性大腸炎に対して早期治療介入が必要かどうかを検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

対象は 2010 年 1 月～2023 年 10 月に FIT を契機に内視鏡を行い UC が疑われ感染や他疾患が除外できた症例 33 例

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月、初診時年齢、UC 治療介入の有無、内視鏡検査日、生検結果、便培養検査、自覚症状、UC 治療開始内容、フォローの内視鏡所見、UC 確定診断年、病型、臨床経過、5-ASA 不耐、PSL 経過、治療内容、背景疾患、家族歴、フォロー期間、臨床的重症度、血液データ（WBC,Hb,PLT,CRP）

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 2 月 18 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 池田 有希

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明